

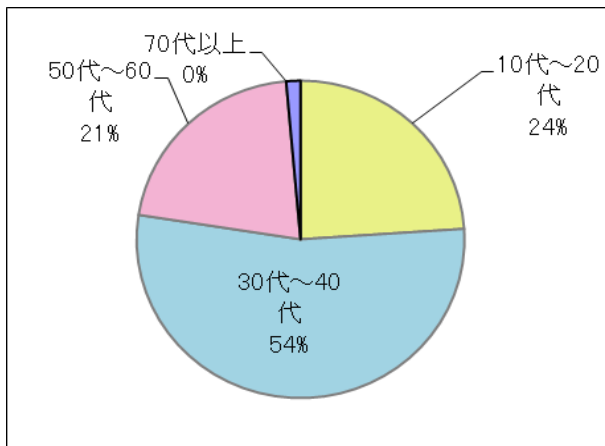
## 第23回都城緩和ケア研究会 アンケート結果

○開催日：平成27年9月5日

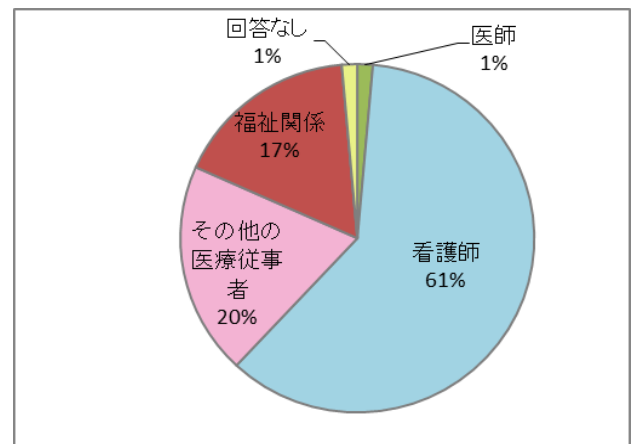
○入場者数：107名

○アンケート回答数：71名

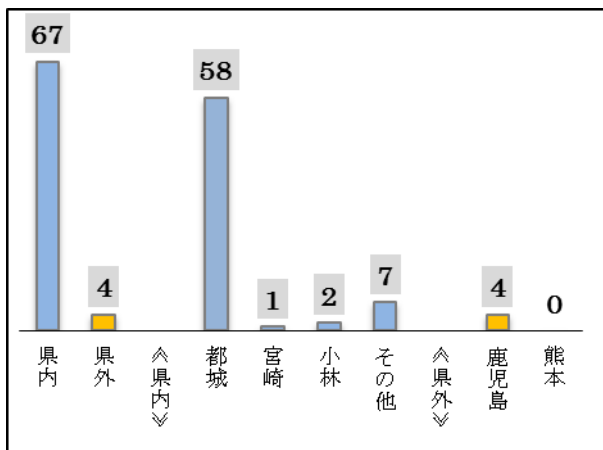
### 1、年齢



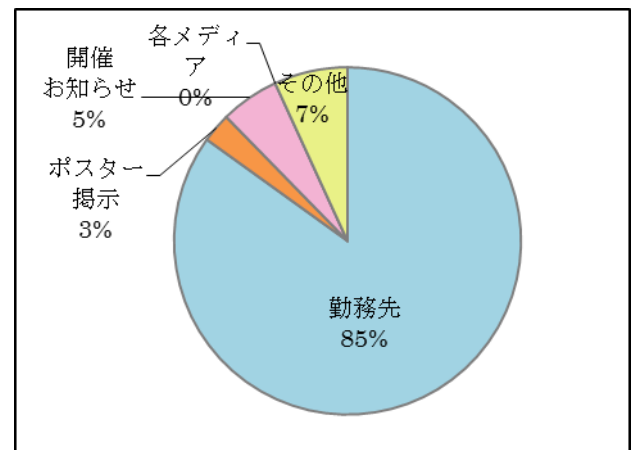
### 2、職業



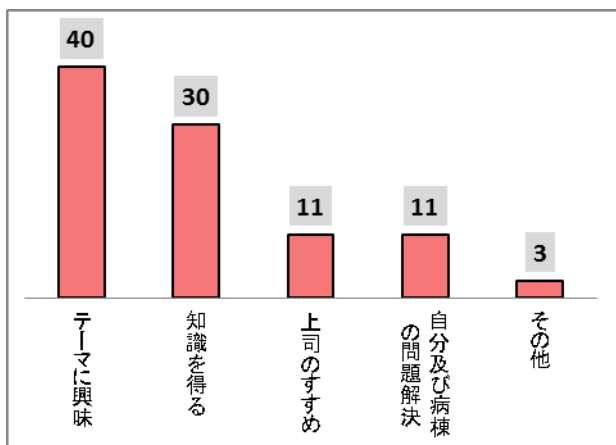
### 3、地域



### 4、この研究会をどちらで知りましたか

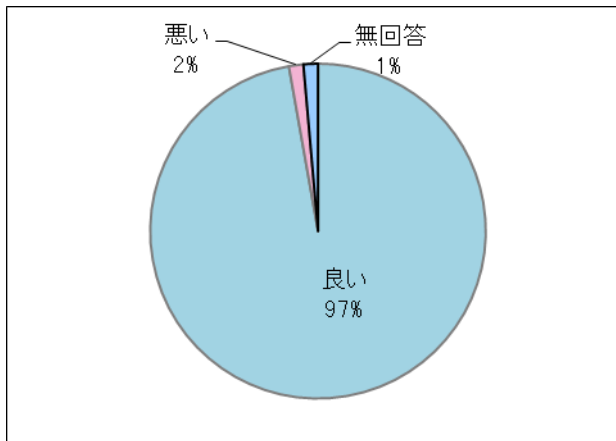


### 5、参加の動機（複数回答有り）

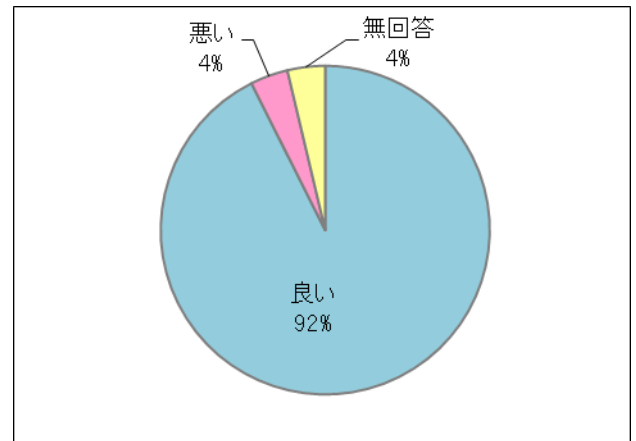


## 6、開催時期について

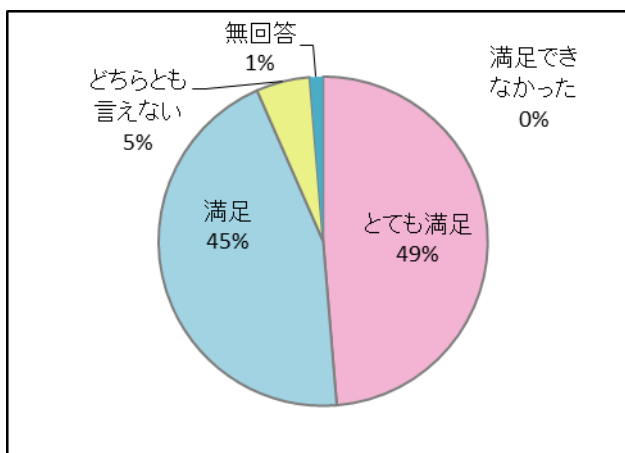
### ①土曜日の開催について



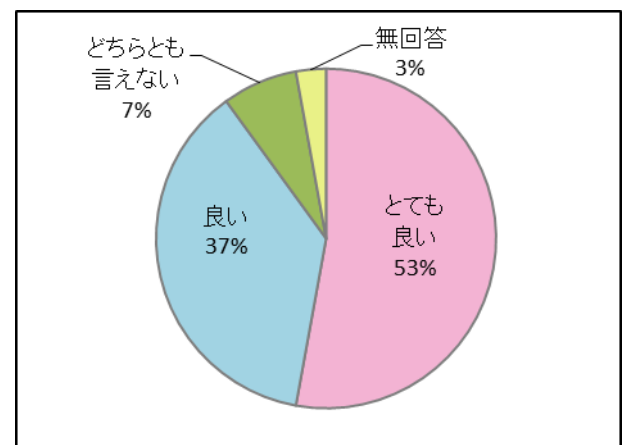
### ②開催時間



## 7、研究会の内容について



## 8、討論会の運営形式



## 9. 研究会に取り上げるテーマとして

- ・治療のタイミング
- ・認知症の方に対しての看取り（若年性発症を含む）
- ・介護と緩和ケア
- ・在宅での疼痛管理
- ・施設での看取り、ターミナルケアをしています。最後を施設で迎えられる方が多いですが、在宅での看取り、様々な看取りがあると思います。看取りについて関心があるのでテーマであげて欲しいです。
- ・認知症ケアについて（さまざまな認知症の方のアプローチ方法や薬剤の効果、副作用などを学びたいです。）
- ・ターミナルケア
- ・IVH など。

## 10. その他、ご意見、ご感想

- ・外部からの緩和病棟の講話を聞きたい。
- ・面白かった。
- ・みなさんの取り組みやグループワークで元気を頂きました。次回もまた参加したいし、今日得たことを臨床で活かしていきたいです。
- ・普段関わることのない福祉施設の方のお話が聞けて大変勉強になりました。病院を退院した後に施設、在宅があるのだと意識しようと思いました。
- ・各病院における管理栄養士の働きや様々な考え方を聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・さまざまな症例の研究を通して、学ぶことも沢山あった。その後のグループワークでも当院の事例から他の病院や地域のケアマネや訪看の意見も聞くことができ、今後に繋げていく中で、とても参考になった時間でした。
- ・今回多職種による緩和ケアがテーマで在宅における生活には多職種での介入が必要であると感じた。
- ・今回、介護福祉施設における看取りについてのグループワークに参加しました。実際施設について知らないことも多く、様々な施設の話聞き、地域医療や連携についてとても勉強になりました。
- ・グループワークでは少人数であることもあり、情報支援が多くできた。とても有意義な時間で、これからは活かせそうです。課題がたくさんできました。
- ・それぞれの病院の研究発表を聞いて、共感できる場所や同じような悩みや課題をもっていることを感じました。グループワークではそれぞれの施設や病院で働いている人の現状が聞けてとても参考になりました。
- ・多職種との話ができてよかった。
- ・今回の研究会もとても勉強になりました。家族がより良いターミナル期を過ごせるように本日の学びを活かしていきたいと思いました。ありがとうございました。又、心理士の認定を受けられるよう頑張りたいと思います。
- ・看取りをする上で連携を図ることは大事だと改めて思いました。
- ・各病院、施設からの研究発表等全て良かったです。とても学びになりました。
- ・大変勉強になりました。
- ・他施設の話が聞けて良かったです。
- ・患者様、利用者様の気持ちを大切にしたいと思いました。・大変参考になりました。

### 《運営》

- ・スライドが前の方で見づらかった。
- ・進むペースが速い。
- ・グループワークでの話が聞き取りにくかったです。テーブル配置を考えた方が良かったと思います。